

第 3 節 A W B 情報等の訂正

前節（積荷に関する事項の報告及び取卸関係手続）において登録された A W B 情報等を訂正する場合は、この節の定めるところによる。

1 不突合時又は未突合時における A W B 情報等の訂正

(1) 訂正の種類

A W B 情報等が突合しなかった場合は、「輸入便情報照会（A W B）」業務（業務コード：I M F 1 1）及び「輸入貨物情報照会」業務（業務コード：I A W）を利用して A W B 情報等の内容を確認し、次により A W B 情報等を訂正する。

イ 「A W B 情報登録（輸入）」業務（業務コード：A C H）により登録された到着個数と「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）により登録された確認個数が一致しない場合（不突合）

(イ) A W B 情報を訂正する場合は、後記(2)（A W B 情報の訂正等）により、訂正する。

(ロ) 貨物確認情報を訂正する場合は、後記(3)（貨物確認情報の訂正等）により、訂正する。

ロ 「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）のみが実施され、「A W B 情報登録（輸入）」業務（業務コード：A C H）が実施されていない場合（未突合）

(イ) 突合させる場合は、後記(2)（A W B 情報の訂正等）により、A W B 情報を追加する。

(ロ) 貨物確認情報を誤って登録した場合は、後記(3)（貨物確認情報の訂正等）により、貨物確認情報を取り消す。

ハ 「A W B 情報登録（輸入）」業務（業務コード：A C H）のみが実施され、「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）が実施されていない場合（未突合）

(イ) A W B 情報を誤って登録した場合は、後記(2)（A W B 情報の訂正等）により、A W B 情報を取り消す。

(ロ) 突合させる場合は、後記(3)（貨物確認情報の訂正等）により、貨物確認情報を追加する。

(2) A W B 情報の訂正等

イ 登録の方法

A W B 情報を訂正し、追加し、又は取り消す場合は、「A W B 情報訂正」業務（業務コード：C A W）を利用して、次の事項を入力し送信する。

〔1〕訂正理由コード（「訂正理由」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

(イ) A W B 情報を訂正する場合

区 分	コード
入力ミス	M S T
ショート	S H T
オーバー	O V R
両方ミス	B M S

(㍑) AWB情報を追加する場合

区 分	コード
入力ミス	M S T
ショート	S H T
原因調査中※	T R C

(㍒) AWB情報を取り消す場合

区 分	コード
入力ミス	M S T
オーバー	O V R

※ AWB等関係書類の到着遅延等の理由により、訂正を一時保留する旨をシステム登録し、訂正事項が確定した後、訂正する必要がある。

訂正等を行うことができる項目は次のとおりであるが、項目の詳細については、前節2(2)(AWB情報登録)を参照すること。

○：訂正等可、×：訂正等不可

入力項目（「入力画面」）	訂正	削除 原因調査中	追加 新規登録
到着便名1（「到着便名＊」欄左）	○	○	○
到着便名2（「到着便名＊」欄右）	○	○	○
AWB番号（「AWB番号」欄）	○	○	○
スプリット表示（「S」欄）	○	×	○
ULD表示（「U」欄）	×	×	○
到着個数（「個数」欄）	○	×	○
到着重量（「重量」欄左）	○	×	○
重量単位コード（「重量」欄右）	○	×	○
品名（「品名」欄）	×	×	○
特殊貨物記号（「SPC」欄）	○	×	○
仕出地（「仕出地」欄）	×	×	○
仕向地（「仕向地」欄左）	×	×	○
運送種別（「仕向地」欄右）	×	×	○
総個数（「総個数」欄）	○	×	○
総重量（「総重量」欄左）	○	×	○
重量単位コード（「総重量」欄右）	○	×	○
社用品表示（「SV」欄）	○	×	○
チェックデジット不要表示（「C」欄）	×	×	○
荷送人名（「荷送人」欄）	×	×	○
荷送人住所（「荷送人住所」欄）	×	×	○
荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）	×	×	○
荷受人コード（「荷受人」欄左）	×	×	○
荷受人名（「荷受人」欄右）	×	×	○

入力項目（「入力画面」）	訂正	削除 原因調査中	追加 新規登録
荷受人住所（「荷受人住所」欄）	×	×	○
荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）	×	×	○

ロ 出力情報

前記イ（登録の方法）により、AWB 情報が訂正等された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
分割貨物完了情報 （SPRIT COMPLETION NOTICE）（※）	A A S O 1 0 1	スプリット貨物について全量到着済みとなった場合。	各到着地空港で最初の「AWB 情報登録（輸入）」業務（業務コード：A C H）を実施した航空会社
搬入状況通知情報 （輸入） （BOND IN STATUS INFORMATION） （※）	A A S O 1 1 0	次の条件を全て満たした場合。 ① 突合済みである場合。 ② 税関届出を必要とする事故貨物である場合。	登録者 到着地空港の管轄税関（監視担当部門） 「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）を実施した保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
訂正（保留）控情報 A （CORRECT SUSPEND NOTICE）（※）	A A S O 2 0 1	空港保税蔵置場に搬入された貨物である場合。 U L D 収容貨物である場合。	登録者 「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）を実施した保税蔵置場 登録者 他空港向一括保税運送先の保税蔵置場
訂正（保留）確認情報 A （CORRECT SUSPEND NOTICE）（※）	A A S O 2 1 1	空港保税蔵置場に搬入された貨物である場合。 U L D 収容貨物である場合。	「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）を実施した保税蔵置場の管轄税関（保税担当部門） 到着地空港の管轄税関（監視担当部門） 他空港向一括保税運送先の保税蔵置場の管轄税関（保税担当部門） 到着地空港の管轄税関（監視担当部門）
不一致情報 B （UNMATCH LIST	A A S O 2 2 1	次の登録を実施し、本申告許可後に A W B 情報を	税関（通関担当部門） 通関業者

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
URGENT CARGO) (※)		取り消した場合。 ① 貨物到着前輸入申告 扱いの予備申告。 ② 貨物到着前輸入申告 扱いの輸入申告。 ③ 到着即時扱いの予備 申告。	
保税関係確認情報	A A L 5 0 1 0	特殊貨物である場合。	到着地空港の管轄税関（保税担当 部門）

(※) 括弧内は帳票タイトル

(3) 貨物確認情報の訂正等

イ 訂正等の方法

「貨物確認情報訂正」業務（業務コード：C P K）を利用して、次の事項を入力し送信する。

なお、訂正等することができる項目は次のとおりであるが、項目の詳細については、前節 2

(3)（貨物確認情報の登録）を参照すること。

〔1〕訂正理由コード（「訂正理由」欄）

次の区分に応じたコードを必須入力する。

(イ) AWB 情報を訂正する場合

区 分	コード
入力ミス	M S T
ミスカウント	M S C

(ロ) AWB 情報を追加する場合

区 分	コード
入力ミス	M S T

(ハ) AWB 情報を取り消す場合

区 分	コード
入力ミス	M S T

訂正等を行うことができる項目は次のとおりである。

○：訂正等可、×：訂正等不可

入力項目（入力画面）	訂正	削除	追加
到着便名 1（「到着便名＊」欄左）	○	○	○
到着便名 2（「到着便名＊」欄右）	○	○	○
保税蔵置場（「保税蔵置場」欄）	○	○	○
U L D 収容貨物表示（「U L D 収容」欄）	○	×	○
差日数（「差日数」欄）	○	×	○
AWB 番号（「AWB 番号」欄）	○	○	○
U L D 表示（「U」欄）	×	×	○

入力項目（入力画面）	訂正	削除	追加
個数（「個数」欄）	○	×	○
重量（「重量」欄左）	○	×	○
重量単位コード（「重量」欄右）	○	×	○
特殊貨物記号（「SPC」欄）	○	×	○

ロ 出力情報

前記ロ（登録の方法）により、貨物確認情報が訂正等された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
分割貨物完了情報 （SPRIT COMPLETION NOTICE）（※）	AAS0101	スプリット貨物について全量到着済みとなった場合。	各到着地空港で最初の「AWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：ACH）を実施した航空会社
搬入状況通知情報 （輸入） （BOND IN STATUS INFORMATION）（※）	AAS0110	次の条件を全て満たした場合。 ① 突合済みである場合。 ② 税関届出を必要とする事故貨物である場合。	登録者（税関の場合は除く。） 「AWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：ACH）を実施した航空会社 到着地空港の管轄税関（監視担当部門） 本業務を実施した空港保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
訂正（保留）控情報 A （CORRECT（SUSPEND） NOTICE）（※）	AAS0201	なし。	登録者 「AWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：ACH）を実施した航空会社
		登録者が航空会社であり、かつ、空港保税蔵置場への取卸しである場合。	取卸場所の保税蔵置場
訂正（保留）確認情報 A （CORRECT（SUSPEND） NOTICE）（※）	AAS0211	空港保税蔵置場に搬入された貨物である場合。	到着地空港の管轄税関（監視担当部門） 保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
		ULD収容の他空港向一括保税運送貨物である場合。	到着地空港の管轄税関（監視担当部門） 保税蔵置場を管轄する税関（保税担当部門）
他所蔵置搬入確認情報（輸入）	AAS0170	次の条件を全て満たした場合。	保税蔵置場の管轄税関（保税担当部門）

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		① 他所蔵置貨物が存在する。 ② 登録者が税関でない。	
保税関係確認情報	A A L 5 0 1 0	特殊貨物である場合。	保税蔵置場の管轄税関（保税担当部門）

（※）括弧内は帳票タイトル

2 突合済みの輸入貨物情報の訂正

(1) 訂正可能項目

突合済みの輸入貨物情報の訂正を必要とする場合は、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：C A I 0 1）を利用して行うが、訂正することができる項目については、AWB情報における輸入便情報有無及び突合状況に応じて次のとおりである。

なお、次の入力項目以外の訂正については、後記5（輸入申告中における貨物情報の変更手続）により訂正する。

① 入力者が保税蔵置場の場合

○：訂正可、×：訂正不可

入力項目(入力画面)	AWB情報の訂正					
	輸入便情報有り			輸入便情報無し		
	未突合	不突合	突合済み	未突合	不突合	突合済み
品名（「品名」欄）	×	×	○	○（注1）	×	○
仕出地（「仕出地」欄）	×	×	○	○（注1）	×	○
総個数（「総個数」欄）	×	×	○	×	×	○
総重量（「総重量」欄）	×	×	○	×	×	○
特殊貨物記号（「S P C」欄）	×	×	○	×	×	○
社用品（「社用品」欄）	×	×	○	×	×	○
荷送人名（「荷送人」欄）	×	×	×	×	×	×
荷送人住所（「荷送人住所」欄）	×	×	×	×	×	×
荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）	×	×	×	×	×	×
荷受人コード（「荷受人」欄左）	×	×	×	×	×	×
荷受人名（「荷受人」欄右）	×	×	×	×	×	×
荷受人住所（「荷受人住所」欄）	×	×	×	×	×	×
荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）	×	×	×	×	×	×
到着便名（「到着便名」欄）	×	×	×	×	×	×
到着空港（「到着便名」欄）	×	×	×	×	×	×
到着年月日（「到着年月日」欄）	×	×	○	○（注1）	×	○
搬入年月日（「搬入年月日」欄）	×	×	○	○（注1）	×	○

入力項目(入力画面)	AWB情報の訂正					
	輸入便情報有り			輸入便情報無し		
	未突合	不突合	突合済み	未突合	不突合	突合済み
個数(「個数」欄)	×	×	○(注2)	○(注1)	×	○(注2)
重量(「重量」欄)	×	×	○	○(注1)	×	○
保税蔵置場(「蔵置場」欄)	×	×	○	○(注1)	×	○
仕向地(「仕向地」欄)	×	×	○	○(注1)	×	○
運送種別(「種別」欄)	×	×	○	○(注1)	×	○
ULD(「U」欄)	×	×	○	○(注1)	×	○
突合済表示(「突合」欄)	×	×	×	○(注1)	○	×

(注1) AWB情報(HAWBの場合はHAWB情報)未登録であり、かつ、貨物確認情報登録済みの場合に変更することができる。

(注2) 増加、減少ともに変更することができる。

②入力者が混載業又は航空会社の場合

○：訂正可、×：訂正不可

入力項目(入力画面)	AWB情報の訂正					
	輸入便情報有り			輸入便情報無し		
	未突合	不突合	突合済み	未突合	不突合	突合済み
品名(「品名」欄)	×	×	○	×	×	○
仕出地(「仕出地」欄)	×	×	○	×	×	○
総個数(「総個数」欄)	×	×	○	×	×	○
総重量(「総重量」欄)	×	×	○	×	×	○
特殊貨物記号(「SPC」欄)	×	×	×	×	×	×
社用品(「社用品」欄)	×	×	○	×	×	○
荷送人名(「荷送人」欄)	×	×	○	×	×	○
荷送人住所(「荷送人住所」欄)	×	×	○	×	×	○
荷送人電話番号(「荷送人電話番号」欄)	×	×	○	×	×	○
荷受人コード(「荷受人」欄左)	×	×	○	×	×	○
荷受人名(「荷受人」欄右)	×	×	○	×	×	○
荷受人住所(「荷受人住所」欄)	×	×	○	×	×	○
荷受人電話番号(「荷受人電話番号」欄)	×	×	○	×	×	○
到着便名(「到着便名」欄)	×	×	×	×	×	×
到着空港(「到着便名」欄)	×	×	×	×	×	×
到着年月日(「到着年月日」欄)	×	×	×	×	×	×

入力項目(入力画面)	AWB情報の訂正					
	輸入便情報有り			輸入便情報無し		
	未突合	不突合	突合済み	未突合	不突合	突合済み
搬入年月日(「搬入年月日」欄)	×	×	×	×	×	×
個数(「個数」欄)	×	×	○(注4)	○(注3)	×	○(注4)
重量(「重量」欄)	×	×	○	○(注3)	×	○
保税蔵置場(「蔵置場」欄) (注5)	○(注3)	×	○	○(注3)	×	○
仕向地(「仕向地」欄)	○(注3)	×	○	○(注3)	×	○
運送種別(「種別」欄)	○(注3)	×	○	○(注3)	×	○
ULD(「U」欄)	○(注3)	×	○	○(注3)	×	○
突合済表示(「突合」欄)	×	×	×	×	×	×

(注3) AWB情報登録済みであり、かつ、貨物確認情報未登録の場合に訂正することができる。

(注4) 増加の場合のみ訂正することができる。

(注5) 入力者が混載業の場合は、変更不可。

(2) 訂正の方法

イ 呼出しによる方法「輸入貨物情報変更登録呼出し」業務(業務コード:CAI)を利用して、AWB番号を必須入力し送信することにより、輸入貨物情報が「輸入貨物情報変更登録呼出し結果情報」(出力情報コード:AAS1101)として応答画面に出力されることから、出力された内容を確認の上、後期ロ(呼出しによらない方法)に準じて訂正を必要とする事項を上書き入力し送信する。

ロ 呼出しによらない方法

「輸入貨物情報変更登録」業務(業務コード:CAI01)を利用して、次の事項を入力し送信する。なお、先頭に「#」が付された項目は、訂正不可。

[1] AWB番号(「AWB番号*」欄)

AWB番号が出力される。

[2] 到着空港(「到着空港」欄)

到着地空港のIATAコード(「業務コード集」参照)が出力される。

[3] 品名(「品名」欄)

品名が出力される。

品名を訂正する場合は、訂正後の品名を入力する。

[4] 仕出地(「仕出地」欄)

仕出地がIATAコード(「業務コード集」参照)で出力される。

仕出地を訂正する場合は、訂正後の仕出地のIATAコード(「業務コード集」参照)を入力する。

なお、仕出地がシステムに登録されていない場合は、「ZZZ」を入力する。

[5] 総個数（「総個数」欄）

総個数が出力される。

総個数を訂正する場合は、訂正後の総個数を入力する。

総個数を取り消す場合又はU L D貨物の場合は、「X」を入力する。

[6] 総重量（「総重量」欄）

総重量が出力される。

総重量を訂正する場合は、訂正後の総重量を入力する。

総重量を取り消す場合又はU L D貨物の場合は、「X」を入力する。

なお、小数点以下第1位まで入力することができる。

[7] 特殊貨物記号（「S P C」欄）

特殊貨物記号のS P Cコード（特殊貨物）（「業務コード集」参照）が出力される。

特殊貨物記号を訂正する場合は、S P C（特殊貨物）コード（「業務コード集」参照）を入力する。

特殊貨物である旨を取り消す場合又はU L D貨物の場合は、「X」を入力する。

[8] 社用品表示（「社用品」欄）

社用品である旨が登録されている場合は、「S V」が出力される。

社用品である旨を登録する場合は、「S V」を入力する。

社用品である旨を取り消す場合又はU L D貨物で社用品の旨が登録されている場合は、「X」を入力する。

[9] 荷送人名（「荷送人」欄）

荷送人名が出力される。

荷送人名を訂正する場合は、訂正後の荷送人名を入力する。

[10] 荷送人住所（「荷送人住所」欄）

荷送人住所が出力される。

荷送人住所を訂正する場合は、訂正後の荷送人住所を入力する。

[11] 荷送人電話番号（「荷送人電話番号」欄）

荷送人電話番号が出力される。

荷送人電話番号を訂正する場合は、訂正後の荷送人電話番号を市外局番から入力する（区切り符号は入力しない。）。

[12] 荷受人コード（「荷受人」欄左）

荷受人コードの輸出入者コードが出力される。

荷受人コードを訂正する場合は、訂正後の荷受人コードの輸出入者コードを入力する。

[13] 荷受人名（「荷受人」欄右）

荷受人名が出力される。

荷受人名を訂正する場合は、訂正後の荷受人名を入力する。

[14] 荷受人住所（「荷受人住所」欄）

荷受人住所が出力される。

荷受人住所を訂正する場合は、訂正後の荷受人住所を入力する。

[15] 荷受人電話番号（「荷受人電話番号」欄）

荷受人電話番号が出力される。

荷受人電話番号を訂正する場合は、訂正後の荷受人電話番号を市外局番から入力する
(区切り符号は入力しない。)

[16] 訂正理由 (「訂正理由」欄)

次の区分に応じたコードで必須入力する。

区 分	コード
個数以外の項目を訂正する場合	M S T
個数を減らす場合	S H T
個数を増やす場合	O V R

※ 以下 [17] から [28] までの項目は、最大 30 欄まで繰り返し入力することができる。

[17] 到着便名 1 (「到着便名」欄左)

到着便名の便名部が出力される。

[18] 到着便名 2 (「到着便名」欄中)

到着便名の日付部が出力される。

[19] 到着空港 (「到着便名」欄右)

到着地空港の I A T A コード (「業務コード集」参照) が出力される。

[20] 到着年月日 (「到着年月日」欄)

到着便の到着年月日が出力される。

到着便の到着年月日を訂正する場合は、到着便の到着年月日を西暦 (8 桁) で入力する。

[21] 搬入年月日 (「搬入年月日」欄)

搬入年月日が出力される。

搬入年月日を訂正する場合は、搬入年月日を西暦 (8 桁) で入力する。

[22] 個数 (「個数」欄)

到着個数が出力される。

「AWB情報登録 (輸入)」業務 (業務コード: A C H) が実施されていない場合は、
「0」が出力される。

到着個数を訂正する場合は、到着個数を入力する。

[23] 重量 (「重量」欄)

到着重量が出力される。

「AWB情報登録 (輸入)」業務 (業務コード: A C H) が実施されていない場合は、
「0. 0」が出力される。

到着重量を訂正する場合は、到着重量を入力する。

なお、小数点以下第 1 位まで入力することができる。

[24] 保税蔵置場 (「蔵置場」欄)

貨物が蔵置されている蔵置場の保税地域コード (「業務コード集」参照) が出力される。

保税蔵置場を訂正する場合は、訂正後の保税蔵置場の保税地域コード (「業務コード集」
参照) を入力する。

[25] 仕向地 (「仕向地」欄)

仕向地が出力される。

仕向地の訂正等を行う場合は、仕向地の I A T A コード (「業務コード集」参照) を入

力する。

[26] 運送種別（「種別」欄）

次の区分に応じたコードが出力される。

訂正等を行う場合は、区分に応じたコードを入力する。

ただし、ULD収容貨物の場合は、「1」の入力は不可。

区 分	コード
到着地空港場貨物又は一般仮陸揚貨物	X
到着地空港場貨物のうち、航空会社保税蔵置場向け社用品	1
マル仮貨物又は仮・仮貨物	K
他空港向一括保税運送貨物	T
他空港向一括保税運送仮陸揚貨物	H
機移し貨物	M
運送種別未定	?

[27] ULD（「U」欄）

次の区分に応じたコードが出力される。

訂正等を行う場合は、次の区分に応じたコードを入力する。

社用品の場合は、「K」の入力は不可。

突合済みの場合は、「U」の入力は不可。

区 分	コード
ULD収容貨物	U
ULD	K
ULD及びULD収容貨物の旨を取消し	X

[28] 突合済表示（「突合」欄）

突合済みの場合は、「Y」が出力される。

本項目の入力については、後記3（輸入便情報削除後の処理）を参照すること。

(3) 出力情報

前記(2)（訂正の方法）により、突合済みの輸入貨物情報が訂正された場合は、次の情報がそれぞれ配信される。

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
訂正控情報 (CORRECT NOTICE (CAI)) (※)	A A S 1 1 2 1	訂正が認められた場合	登録者
		次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が認められた場合 ③ 蔵置中であり、当該情報を出力する旨が登録されている場合	貨物が蔵置されている 保税地域
訂正保留控情報 (CORRECT SUSPEND	A A S 1 1 3 1	訂正が保留となった場合	登録者
		次の条件を全て満たした場合	貨物が蔵置されている

出力情報 NOTICE (CAI)) (※)	出力情報コード	出力条件	配信先
		① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が保留となった場合 ③ 蔵置中であり、当該情報を出力する旨が登録されている場合	保税地域
訂正確認情報 (CORRECT NOTICE (CAI)) (※)	A A S 1 1 4 1	次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が保税蔵置場である場合 ② 訂正が認められた場合	保税地域の管轄税関（保税担当部門及び監視担当部門）
		次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が認められた場合 ③ 登録者が所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されていない場合	登録者の所在地を管轄する税関（保税担当部門及び監視担当部門）
		次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が認められた場合 ③ 登録者が所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されている場合	「貨物確認情報登録」業務（業務コード：P K G）を実施した保税地域の管轄税関（保税担当部門及び監視担当部門）
訂正保留確認情報 (CORRECT SUNPEND NOTICE (CAI)) (※)	A A S 1 1 5 1	次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が保税蔵置場である場合 ② 訂正が保留となった場合	保税地域の管轄税関（保税担当部門及び監視担当部門）
		次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が保留となった場合 ③ 登録者が所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されていない場合	登録者の所在地を管轄する税関（保税担当部門及び監視担当部門）

出力情報	出力情報コード	出力条件	配信先
		次の条件を全て満たした場合 ① 登録者が航空会社又は混載業である場合 ② 訂正が保留となった場合 ③ 登録者が所属する税関官署が管轄する保税蔵置場又は登録者の所属する空港地区と同一地区の空港保税蔵置場に蔵置されている場合	「貨物確認情報登録」業務（業務コード：PKG）を実施した保税蔵置場の管轄税関（保税担当部門及び監視担当部門）
分割貨物完了情報 （SPRIT COMPLETION NOTICE）（※）	AAS0101	スプリット貨物について全量到着済みとなった場合	各到着空港で最初の「AWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：ACH）を実施した航空会社
保税関係確認情報	AAL5010	特殊貨物について変更又は追加された場合	登録者の所在地を管轄する税関（保税担当部門）

（※）括弧内は帳票タイトル

3 輸入便情報削除後の処理

「AWB情報登録（輸入）」業務（業務コード：ACH）又は「貨物確認情報登録」業務（業務コード：PKG）のいずれか最初に実施された業務において輸入便情報を作成し、一定期間保持した後、削除する。

また、突合しなかった貨物情報について、輸入便情報のシステム保存期間経過後に突合させる場合は、次による。

(1) 不突合を突合させる場合

イ 当該不突合について、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、「突合」欄に「Y」を入力し送信する。

ロ 前記イにおいて突合させた後、さらに「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、前記2(2)（訂正の方法）により訂正を必要とする項目を訂正する。

(2) 未突合情報を突合させる場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、該当する項目に正しい情報を追加又は上書きするとともに、「突合」欄に「Y」を入力し送信する。

(3) 未突合又は不突合情報を削除する場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、「突合」欄に「X」を入力し送信する。

（注）この送信による削除情報の登録の日から一定期間経過後、当該貨物情報がシステムから削除される。

(4) 未突合又は不突合情報の削除登録を取り消す場合

「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して、「突合」欄に「R」を入力し送信する。

また、「輸入貨物情報変更登録」業務（業務コード：CAI01）を利用して訂正することができない場合又は輸入申告等が行われた貨物情報について訂正等を必要とする場合は、後記5（輸入申告中における貨物情報の変更手続）により処理する。

4 訂正保留となった場合の処理

(1) 不突合の場合

前記1(2)（AWB情報の訂正等）又は(3)（貨物確認情報の訂正等）により、「訂正（保留）控情報A（CORRECT（SUSPEND）NOTICE）（括弧内は帳票タイトル）」（出力情報コード：AAS0201）が配信され、当該出力情報の訂正保留表示（「RMKS」欄）に「PENDING」が出力された場合は、税関による訂正保留解除を行うまで、当該訂正保留となった貨物の後続業務が実施することができないため、「NACCS登録情報変更申出」にAWB番号、訂正した内容及び事由等、必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」の提出については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。

(2) 突合後の場合

前記2（突合済みの輸入貨物情報の訂正）により、「訂正保留控（SUSPEND NOTICE（CAI））（括弧内は帳票タイトル）」（出力情報コード：AAS1131）が配信された場合は、税関による訂正保留解除を行うまで、当該訂正保留となった貨物の後続業務が実施することができないため、「NACCS登録情報変更申出」にAWB番号、訂正した内容及び事由等、必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」の提出については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。

5 輸入申告中における貨物情報の変更手続

前記2（突合済みの輸入貨物情報の訂正）に掲げる項目以外の項目の訂正、又は輸入申告中における輸入貨物情報に係る登録事項の変更を必要とする場合は、「NACCS登録情報変更申出」にAWB番号、訂正すべき内容及び事由等、必要事項を記入の上、税関（監視担当部門又は保税担当部門）に提出する。

なお、「NACCS登録情報変更申出」の提出については、税関手続関連（共通編）-共通手続-第2章第2節（汎用申請関係手続）に定める「汎用申請」業務（業務コード：HYS）により提出することもできる。